

九州緩和ケア研究会 第2回学術集会 プログラム

特別講演

13:45～14:45 第一会場（第1講義室）

座長：山本 達郎（熊本大学医学部附属病院 緩和ケアセンター長）

「スピリチュアルペインの構造について考える

ーホスピスでの実践から見えてきたものー」

嘉藤 茂（外旭川病院 ホスピス長）

シンポジウム I

15:00～16:30 第一会場（第1講義室）

地域連携のバリアを考える ～どうしてる？オピオイド持続注射継続中の転院・退院～

座長：山岡 憲夫（やまおか在宅クリニック 院長）

竹迫 秀和（博愛会相良病院 薬剤課長）

シンポジスト

龍 恵美（長崎大学病院薬剤部 麻薬管理室長・緩和ケアチーム）

佐田 悦子（P-ネット副代表世話人・アクア薬局本店 管理薬剤師）

内田 隆（熊本大学医学部附属病院 薬剤部・緩和ケアチーム）

天方 奉子（ハートフェルト薬局セントラルファーマシー長嶺 在宅施設管理担当）

コメンテーター

ひまわり在宅クリニック 院長 後藤慶次、訪問看護師

シンポジウム II

11:00～12:15 第三会場（安全講習室）

熊本地震から学んだこと ～天災は忘れた頃にやってくる～

座長：小林 秀正（熊本中央病院緩和ケア内科 部長）

シンポジスト

安部 英治（熊本地域医療センター緩和ケア科 部長）

吉田 稔（熊本赤十字病院血液・腫瘍内科 部長）

小多 崇（熊本日日新聞社編集局社会部 部次長兼編集委員兼論説委員）

藤本 真之介（熊本県健康福祉部健康局健康づくり推進課企画・がん対策班 参事）

共催セミナー①

12:30～13:30 第一会場（第1講義室）

座長：境 健爾（国立病院機構熊本医療センター腫瘍内科）

共催：大鵬薬品工業株式会社

「痛みの評価と治療 ～痛みが原因で鎮静しないために～」

小杉寿文（佐賀県医療センター好生館緩和ケア科 部長）

※先着160名様となります。

共催セミナー②

12:30～13:30 第三会場（安全講習室）

座長：吉武 淳（熊本大学医学部附属病院緩和ケアセンター）

共催：塩野義製薬株式会社

「ホスピス緩和ケア」

吉田 晋（医療社団法人 栄光会 栄光病院 ホスピス主監）

※先着100名様となります。

共催セミナー③

12:30～13:30 第四会場（第4講義室）

座長：上妻精二（医療法人社団鶴友会鶴田病院麻酔科部長兼緩和ケア病棟長）

共催：テルモ株式会社

「“家に帰る”脊髄鎮痛法を施行した患者のその後」

奥田 健太郎（大分大学医学部麻酔科学講座講師 診療教授 ペインクリニック・緩和ケア部門）

※先着80名様となります。

一般演題（1）（口演）

11:00～12:00 第二会場（第2講義室）

座長：清水佐智子（鹿児島大学医学部保健学科看護学専攻臨床看護学講座）

①「肺癌下顎リンパ節転移自壊例に亜鉛華デンプン外用療法を行い有効であった1例」

○北森 靖隆¹⁾⁴⁾、市村 行典¹⁾⁴⁾、守田 夏希¹⁾⁴⁾、岡山 浩子²⁾⁴⁾、宮田 美智子²⁾⁴⁾

平嶋 和代²⁾⁴⁾、丸山 広高³⁾、石田 英明¹⁾、伊藤 清隆³⁾⁴⁾

1) 熊本労災病院 薬剤部

2) 熊本労災病院 看護部

3) 熊本労災病院 内科

4) 熊本労災病院 緩和ケアチーム

②「当院緩和ケアチームにおける臨床心理士の活動」

○廣瀬 寧子¹⁾、一美 奈緒子²⁾、吉武 淳¹⁾³⁾、山本 達郎¹⁾³⁾

1) 熊本大学医学部附属病院 緩和ケアセンター

2) 熊本大学大学院医学教育学部 神経精神医学分野

3) 熊本大学医学部附属病院 麻酔科

③「がん終末期における褥瘡ケア」

○中村 亜紀、赤塚 直美

（医療法人社団 鶴友会 鶴田病院 緩和ケア病棟）

④「キーパーソンである未成年者への支援について」

○菅 千葉美

（医療法人社団 鶴友会 鶴田病院 緩和ケア病棟）

一般演題（2）（口演）

15:00～16:15 第三会場（安全講習室）

座長：山下和海（特定医療法人原土井病院緩和統括部長）

⑤「当院緩和ケアセンターにおける歯科部門の取り組みと今後の課題」

○山下 裕美¹⁾³⁾、貫間 知美²⁾³⁾、森下 暁³⁾、永石 恵美³⁾、長池 恵美³⁾

石井 浩二³⁾⁴⁾、北條 美能留³⁾⁵⁾、朝比奈 泉¹⁾、芦澤 和人³⁾

1) 長崎大学大学院医歯薬学総合研究科 顎口腔再生外科学分野

2) 長崎大学病院 歯科衛生室

3) 長崎大学病院 緩和ケアセンター

4) 長崎大学病院 麻酔科

5) 長崎大学大学院医歯薬学総合研究科 麻酔蘇生学分野

⑥「退院・転院の際の疼痛管理の継続についての検討と課題」

○椎原 啓輔¹⁾²⁾、山下 香美¹⁾、小倉 怜子¹⁾、後藤 伴美¹⁾、月森 由紀¹⁾、足立 和代¹⁾、小野 宮子¹⁾

赤峰 伴子¹⁾、下部 佳美¹⁾、畑中 明子¹⁾、日隈 晴香¹⁾³⁾、田北 不空¹⁾³⁾、奥田 健太郎¹⁾²⁾、北野 敬明²⁾

1) 大分大学医学部附属病院 緩和ケア支援チーム

2) 大分大学医学部附属病院 麻酔科

3) 大分大学医学部附属病院 精神科

⑦「癌終末期患者の緊急受け入れに対する当院の取り組みについて」

○中村 俊彦¹⁾、前原 伸一郎²⁾

1) 九州中央病院 緩和ケア科

2) 九州中央病院 救急部

⑧「症状コントロールが難しい傍腫瘍性感覚性ニューロパチーを伴う肺がん患者・家族への在宅へ向けた退院支援」

○田中 千保理（福岡大学筑紫病院）

⑨「緩和医療における有床診療所の意義について」

○中村 光成（西原クリニック）

一般演題 (3) (口演)

16:30 ~ 17:30 第三会場 (安全講習室)
座長: 笹良剛史 (友愛会南部病院麻酔科、ペイン、緩和ケア担当)

- ⑩ 「難治性の癌性疼痛に対してメサドンを導入した6例」
○後藤 慎一¹⁾、藤田 靖之³⁾、岩永 亜紀³⁾、田端 麻美⁴⁾、中根 秀之⁵⁾、中島 綾子³⁾
1) 日本赤十字社長崎原爆病院 麻酔科/緩和ケア推進室
2) 日本赤十字社長崎原爆病院 薬剤部
3) 日本赤十字社長崎原爆病院 看護部
4) 日本赤十字社長崎原爆病院 栄養課
5) 長崎大学大学院 医歯薬学総合研究科 医療科学専攻
- ⑪ 「ミダゾラムの夜間投与が日中の呼吸困難にも奏功した腹腔内巨大腫瘍の1症例」
○西村 絵実^{1) 2)}、松尾 隆志³⁾、久保 昌亮^{1) 4)}、古川 いづみ^{1) 6)}
徳田 憲治^{1) 5)}、福山 幸枝⁶⁾、松岡 綾美^{1) 6)}、有留 邦明^{1) 4)}
1) 済生会 川内病院 緩和ケアチーム
2) 済生会 川内病院 麻酔科、ペインクリニック
3) 済生会 川内病院 産婦人科
4) 済生会 川内病院 外科
5) 済生会 川内病院 薬剤部
6) 済生会 川内病院 看護部
- ⑫ 「緩和病棟入院中発症の心房粗動発作に対しカルディオバージョンにて症状緩和に至った1例」
○岡村 知直 (飯塚病院 緩和ケア科)
- ⑬ 「難治性腹水に対する KM-CART 300 例の治療成績と腹水処理の工夫」
○渡邊 昭博、小西 正洋 (医療法人 小西第一病院)

一般演題 (4) (口演)

15:00 ~ 16:15 第四会場 (第4講義室)
座長: 大島 彰 (国立病院機構九州がんセンター サイコオンコロジー科医長
/緩和ケアセンター室長)

- ⑭ 「若い世代に対する“命の授業”の効果と課題」
○林 良彦 (社会医療法人財団 天心堂 へつぎ病院 緩和ケア病棟)
- ⑮ 「病気の苦痛(つらさ)に対する緩和を目指して」
○近藤 福次¹⁾、鈴木 るみ子²⁾、関戸 哲利³⁾、佐藤 英俊⁴⁾、斎藤 武⁵⁾
1) 県西総合病院 泌尿器科
2) 県西総合病院 看護部
3) 東邦大学大橋病院
4) 佐賀大学医学部附属病院 地域包括緩和ケア科
5) 福岡女学院看護大学
- ⑯ 「LCP を用いることで看護の視点と課題を明確にする ～1事例の検証を通して～」
○伊藤 美幸 (潤和会記念病院 緩和ケア病棟)
- ⑰ 「痛みを訴え続ける肺がん女性の事例 ―その人らしい死の迎え方を考えた事例より―」
○高森 豊子 (医療法人 成風舎 西原クリニック)
- ⑱ 「村田理論の有意性と限界について」
○篠原 健治 (日本パプテスト連盟 福岡国際キリスト教会)

一般演題 (5) (口演)

16:30 ~ 17:30 第四会場 (第4講義室)
座長: 高野いづみ (熊本大学医学部附属病院看護部)

- ⑲ 「病棟看護師に対する緩和ケア関連認定看護師・専門看護師の介入の評価と課題」
○藤井 和実、高橋 裕子、横井 いずみ (宮崎県立宮崎病院)
- ⑳ 「睡眠薬と転倒転落などの有害事象に関する検討」
○鎌田 理嗣、堀田 美幸、植村 隆、池田 悦子、糸永 昇平 (長崎医療センター 緩和ケアチーム)
- ㉑ 「緩和ケア病棟の満足度評価 ～遺族の評価と病棟スタッフの評価を比較して～」
○増本 璃沙 (医療法人にゅうわ会 及川病院 緩和ケア病棟)
- ㉒ 「下顎歯肉癌で瘻孔形成している患者さんへの看護を振り返って。最期まで食べたいという思いへの援助を行なって」
○栗原 雅美¹⁾、舩田 能生子¹⁾、長末 梓²⁾、山口 健也³⁾
1) 飯塚病院 看護部
2) 飯塚病院 薬剤部
3) 飯塚病院 緩和ケア科